

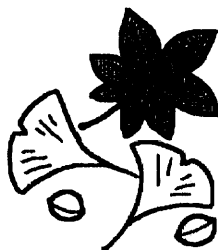
仁柿住民協議会だより

22年11月号

発行責任者
小山利郎

皆さん こんにちは。

秋と言えば「スポーツ」「芸術」「食欲」などなど、いろいろな言葉で季節を表現しますが、皆さんは今年の秋をどのように表現しますか？



防災訓練など協議

第三回役員会

会長他8人の役員にて、役員会を十月三日(日)、行いました。

議事などは次のとおりです。

●古坂街道補修作業について検討
(十月三十一日(日)実施)

●学校林の登記簿の紹介と確認
小学校閉校に伴い住民協議会に移管された登記簿を確認。

●防災訓練について計画

防災部会(加藤達也部会長)から提案いただき、次のとおり開催することとしました。

防災訓練

- 日時 11月21日(日)9:00~11:00
- 場所 旧仁柿小学校
- 内容 ①消火栓、②消火器、③AEDの取り扱い など
- その他 参加記念品あります

「いざ！」と言う時、地域全体の協力が
必要です。ぜひ参加ください。



●副市長との懇談会出席報告

八月十日(火)、飯南地域振興局にて「副市長との住民協議会役員との懇談会」がありました。

冒頭、小林副市長は「副市長として①行財政改革、②住民協議会を起動に乗せること、③町づくり、の三つの任務を担っている。都市内分権として住民協議会を起動に乗せていけば新しい松阪ができると考えている」と挨拶されました。

仁柿・有間野・粥見の住民協議会役員から活動内容の報告や意見交換のあと小林副市長は、「市内には四十三の地区があるが、それぞれに自分らしさを発揮する四十三の山(活動内容)があつてしかり。江戸時代日本には七万もの集落があり、それぞれに独自の文化を育んできたが、明治から平成の合併で千七百の自治体になった。これでは独自性ある住民自治が保たれているとは言いがたい。

市でも全体のビジョンを考えているが、各地域も各々で相談し、それぞれの居心地の良さを求めていることが今後、大切になって来るだろう。」と結ばれました。

